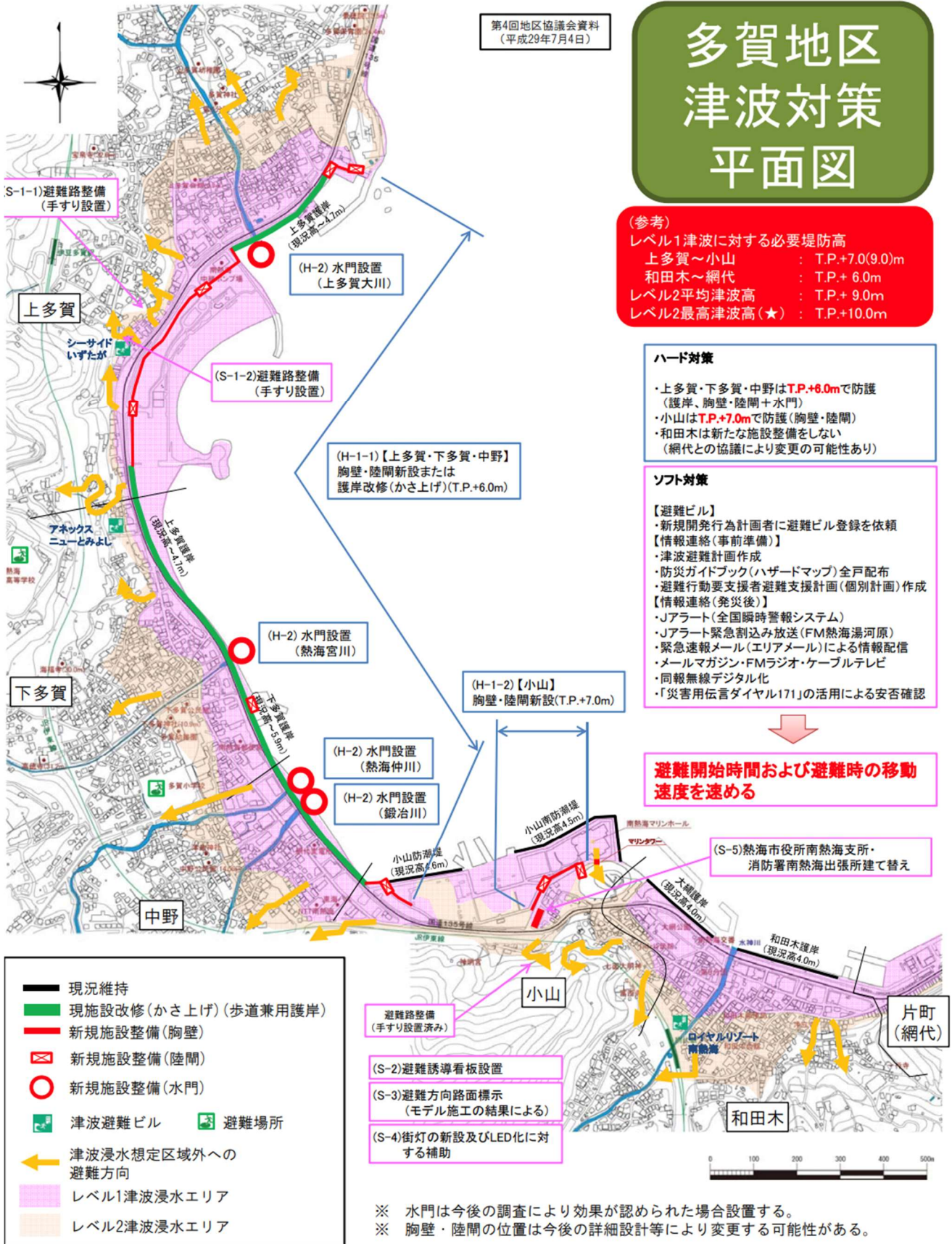


静岡お茶OWS大会 2024 津波ハザードマップ

第4回地区協議会資料
(平成29年7月4日)

多賀地区 津波対策 平面図

(参考)
レベル1津波に対する必要堤防高
上多賀～小山 : T.P.+7.0(9.0)m
和田木～網代 : T.P.+ 6.0m
レベル2平均津波高 : T.P.+ 9.0m
レベル2最高津波高(★) : T.P.+10.0m



ハード対策

- ・上多賀・下多賀・中野はT.P.+6.0mで防護(護岸、胸壁・陸閘+水門)
- ・小山はT.P.+7.0mで防護(胸壁・陸閘)
- ・和田木は新たな施設整備をしない(網代との協議により変更の可能性あり)

ソフト対策

【避難ビル】

- ・新規開発行為計画者に避難ビル登録を依頼

【情報連絡(事前準備)】

- ・津波避難計画作成
- ・防災ガイドブック(ハザードマップ)全戸配布
- ・避難行動要支援者避難支援計画(個別計画)作成

【情報連絡(発災後)】

- ・Jアラート(全国瞬時警報システム)
- ・Jアラート緊急割込み放送(FM熱海湯河原)
- ・緊急速報メール(エリアメール)による情報配信
- ・メールマガジン・FMラジオ・ケーブルテレビ
- ・同報無線デジタル化
- ・「災害用伝言ダイヤル171」の活用による安否確認

避難開始時間および避難時の移動速度を速める

(S-5)熱海市役所南熱海支所・消防署南熱海出張所建て替え

- 現況維持
- 現施設改修(かさ上げ)(歩道兼用護岸)
- 新規施設整備(胸壁)
- ⊠ 新規施設整備(陸閘)
- 新規施設整備(水門)
- 津波避難ビル ■ 避難場所
- 津波浸水想定区域外への避難方向
- レベル1津波浸水エリア
- レベル2津波浸水エリア

- 避難路整備(手すり設置済み)
- (S-2)避難誘導看板設置
- (S-3)避難方向路面標示(モデル施工の結果による)
- (S-4)街灯の新設及びLED化に対する補助

※ 水門は今後の調査により効果が認められた場合設置する。
※ 胸壁・陸閘の位置は今後の詳細設計等により変更する可能性がある。

オレンジ色の太い矢印の方向(山側に向かって)に避難してください。